

羅 針 盤			方 策	第1回点検・評価			第2回点検・評価		
評価対象	評価項目	具体的数値項目		自己評価	外部アンケート	改善策	自己評価	外部アンケート	改善策
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	希望するコースに進めるよう、入学時からアンケートや個人面談等を実施し、きめ細かい指導を繰り返し行うことにより目標をしっかりと定めて学校生活が送れるようにします。	A	A	自分の学校が好きだと感じている生徒が85.4%と高く、引き続き、きめ細かい指導を徹底し、生徒が生き生きとした学校生活が送れるようにします。	B	B	第2回生徒アンケート結果で、自分の学校が好きだと答えている生徒が76.8%であり、具体的数値項目の80%を下回りました。部活動などで3年生が引退して、2年生が中心となったことで不安が生じている可能性があり、成果や結果は焦らずに、生徒個人の成長を促していきます。
	2 生徒の主体的な学びを引き出す特色ある教育活動を行っていますか。	② 学系、コースの教育活動(ボランティア活動や郊外清掃活動などの奉仕作業を含む)に対して、主体的に取り組めたと自己評価する生徒が80%以上である。 ③ 生徒が学習や研究の成果を発表できる機会を年1回以上設定し、それらの活動に達成感を持つ生徒が80%以上である。	地域社会の行事に積極的に参加させ、地域とかわかることにより、課題を見つけ出させ、解決方法を考えさせ、解決に結びつけます。 学習成果発表会や、課題研究発表会などを全校で実施し、かつ、校外の発表会などにも積極的に参加させ、生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めるよう支援します。	A	B	1年生では「はい」と答えた生徒は32.2%と少ないが、2年生では52.5%、3年生は62.5%が「はい」と答えています。学校生活を送り学年が上がるにつれて、学校行事やコース別学習が充実し、主体的に取り組む生徒が増えていくようです。ただ、具体的数値項目の80%に足りず、検討していく必要があります。	B	B	第2回目の生徒アンケート結果では「はい」と答えた生徒が55.1%と第1回目を上回りました。引き続き地域ボランティア活動を積極的に取り組んでいき、具体的数値項目の80%を上回るようにします。
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	企業見学や学校見学を有効なものとするために、見学の事前指導を行い、見学のポイントやワークシートなどを提供します。また、外部講師による進路セミナー等を実施し、進路意識の高揚をはかります。	A	A	進路意識が高まったと答える生徒が全校で84.3%(3年生94.7%、1年生73.8%)であり、進路意識の向上が図られています。また、進路行事などで配布する資料も役立っていると答える生徒が86.7%であり、今後も1~3年生の各段階で進路意識が高まるような進路ガイダンス等の計画を体系的に計画します。	A	A	外部講師などによる進路セミナーは生徒の進路意識向上及び進路選択に効果を上げています。今後も入学後の1年生の段階から、進路決定する3年生の各段階まで、体系的な計画立案を行います。また、進路ノート(ファイル・ポートフォリオ)の充実や大学入学共通テストなどの情報提供を図ります。
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	地域との連携を図り企業実習や農家実習を行います。また、地域の幼小中学校や特別支援学校等と交流を深め、德育教育への取り組みや言語活動を意図的・計画的に取り入れていきます。	A	A	地域交流等は概ね良好であり、工業系では、デュアルシステムに関して工業系企業等のスムーズな選定が行われています。農業系では、長期現場実習や幼・少・中学校等との交流や出前授業も計画的に実施されており、今後も継続して取り組んでいきます。	A	A	生徒のアンケート結果では1学期実施のデュアルシステムは、86.5%が役立っていると感じており、2学期の実施後はさらに89.3%へ向上しました。幼小中学校との交流活動・出前授業も計画通り実施され、生徒の経験が高まっています。今後も充実した地域貢献活動を進めて参ります。
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。 ⑦ 日頃より、予習や復習に取り組む生徒が50%以上である。	多くの普通科目において、習熟度別学習、少人数学習、選択学習を導入し、生徒一人ひとりに指導の手が入りやすい授業を行います。また、授業展開で生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面を多く設定します。 学び直し学習や、学期ごとの基礎学力テストなどの企画・設定などにより、日頃から学習する習慣や態度を養います。	A	A	協働的な学習やICTを活用した分かりやすい授業づくりに取り組んでいます。引き続き生徒が授業で学ぶ喜びを感じられるようにきめ細かい指導を続けます。	A	A	アクティブラーニングとICT活用について職員研修を重ね、授業改善に取り組む中で、授業に楽しそうに取り組む生徒が多く見られます。引き続き、生徒が主体的に学ぶ授業づくりの研修に取り組めます。
	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全校生徒の80%以上である。	必須で検定に取り組んだり、積極的に受検者を募集し必要に応じ補習や補講を計画し合格への支援を行います。	A	A	将来進路実現するためには必ず試験があることを認識させ、家庭学習の課題を工夫するなど、授業時間以外での学習習慣の定着を呼びかけていきます。	B	B	基礎学力の向上や家庭学習習慣の定着をめざすとともに、家庭での手伝いや校外での体験を、生徒自身が学びとして受け止め成長できるような指導を心がけます。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。 ⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。	週1回の学年会議、月1回の生徒指導会議を開催し、生徒の情報を共有し職員の共通理解を図ったうえで、一人ひとりの生徒に対応した段階的な指導を実施します。頭髪・服装指導は学年団を中心に徹底指導します。また、挨拶・身だしなみ・遅刻指導を中心に毎朝校門指導を実施し、改善が必要な生徒にはその場で指導します。学習活動や学校行事、部活動等の二層の活性化を図り、生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面をより多く設定します。また、特別支援及び教育相談係の会議を定例化し生徒の情報を共有するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心に問題を抱えた生徒を支援する体制を強化します。	B	B	問題行動で指導される生徒は減少傾向にあります。今後も積極的な生徒指導を意識した未然防止策を検討し、実施します。	B	A	多くの先生方の協力により、問題行動は昨年度同様となり、生徒は落ち着いた状況にあります。今年度も学年主任と生徒指導主事の会議を実施し、情報を共有しながら生徒指導に取り組むことができました。今後も全職員が共通理解のもと生徒指導を進めていきます。
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めていますか。	⑪ 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に進めている生徒が80%以上である。	面談や学校生活に関するアンケートから、いじめの早期発見に向けて組織的に取組みます。	A	A	三者面談・二者面談をおして早めに情報を集め早期発見・早期解決に努めます。	A	A	今後も日常の生徒観察や年3回実施される生活アンケート結果、職員間の連携を密に行い情報を集め、早期発見・早期解決につとめ、解消率100%を目指します。
	9 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑫ 1カ年皆勤者が生徒数の40%以上である。	家庭との連携を密にし、基本的生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を減少させます。	A	A	基本的生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退の未然防止に力を入れます。	B	A	学校生活5か条の実施状況を確認するために、アンケートの質問事項に加えた結果、多くの生徒が実践していることが分かりました。今後もさらに基本的生活習慣を確立します。
	10 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑬ 治療助告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	各種検診の終了後、速やかに保護者あてに受診のすすめを配布し、生徒の受診を促します。	B	B	検診後に、検査や治療を行っている生徒が40%程度であり、保護者宛の通知や保健だよりを定期的に発行し、きめ細かい指導を続けていきます。	B	B	定期的な受診助告を行うとともに、継続的に声かけなどをしてより受診率が上がるよう指導しています。
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	11 充実した部活動が行われていますか。	⑭ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	掲示板の設置等で部員の増加に努め、週1回「部活動の日」を設け、職員が部活指導しやすい体制づくりに努めます。	B	B	対外試合や校外発表などの機会を増やし、目標を持たせることで、生徒のやる気を奮起させます。	A	A	より多くの部活動を活性化させ、前向きな生徒を増やし、学校全体の明るい雰囲気作りにつなげます。
	12 3カ年を通して系統的で計画的な指導を行い、生徒の希望に則した進路実現が出来たか。	⑮ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。 ⑯ 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	総合的な学習の時間やHR活動を通じ、「自己の在り方・生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる機会を設定し進路に対する意識の高揚を図ります。また、企業等職業人などの外部講師による進路ガイダンスを開き、進路実現に向けての心構えを育成します。 5月に教職員による企業等訪問を実施し情報を収集します。大学・看護系進学希望者には進学対策の補講を実施します。	A	A	進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒は全校で86.7%(3年生は97.4%)です。進路実現のサポートとしては、外部講師による進路ガイダンスを計画・実施しています。また市民講師セミナーなどを開催し、地域の方の教育力を有効活用して行きます。	A	A	外部講師によるワークショップ型セミナーや校内の進路状況などの説明会などを今後も継続して行い、個々の生徒の進路希望に応じた具体的なサポートを行います。
	13 適切な進路情報を提供していますか。	⑰ 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が80%以上である。 ⑱ 進路の手引きや進路だよりの情報に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	保護者会などで適切な資料を配付します。また、進路に関する関心のあることをアンケートで調査して提供資料に反映させます。 就職や進学の最新の状況、学校での進路行事の様子などを進路だよりとして提供します。	B	B	PTA総会で進路状況等の報告を行っています。また、2学年の保護者会でアンケート実施します。進路に関する配布物に目を通している保護者の割合が全校で74.7%であり、進路の手引き、進路だよりの内容をさらに充実します。	B	B	進路の手引きの全校配布や保護者向け進路冊子の配布、進路だよりの発行を通じ、進路情報の発信を継続していきます。進路に関する配布物に目を通して割合が全校で74.9%であり、保護者アンケートで質問のあった事項については、進路だよりを通じて回答をおこなっています。
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑲ 学校行事(PTA総会、学年別保護者会、学習成果発表会、学校公開)に積極的に参加する保護者が60%以上である。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	A	保護者の参加率はPTA総会などは84.6%と目標を超えています。今後も広報を充実させて参加率の向上を図ります。また、保護者が参加して良かったと感じられるように、魅力ある内容を計画します。	A	A	第2回保護者アンケート結果では、参加された保護者は86.7%と目標を超えました。引き続き、保護者が参加しやすいよう計画していきます。
	15 家庭、地域社会に貢献できる活動を行っていますか。	⑳ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	ファームフェスティバル・地域ボランティア活動・地域交流・もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	A	A	在籍中に少なくとも全員が、何らかのかたちで、活動に参加できるような配慮を行います。	A	A	保護者のアンケート結果においては、94.5%と高い水準を示しており、日増しに評価も上がり最終的には95.7%という数値を示している。この数値は、ほとんどの保護者が満足している事を示していますが、さらに改善し、参加率の向上を図ります。

羅 針 盤			方 策	達 成 度			改 善 状 況 の ま と め	学 校 関 係 者 評 価	次 年 度 の 課 題
評価対象	評価項目	具体的数値項目		①	②	総合			
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 学系別くくり募集を導入し、生徒のニーズに対応した教育を実践していますか。	① 自分の学校が好きだと感じている生徒が80%以上である。	希望するコースに進めるよう、入学時からアンケートや個人面談等を実施し、きめ細かい指導を繰り返し行うことにより目標をしっかりと定めて学校生活が送れるようにします。	A	B	B	多くの生徒が、自分の専門を生かした地域貢献や研究を重ねて多くの成果を上げることができ、大きく成長する姿が見られました。学習成果発表会では、自分の学びをまとめ、わかりやすく発表する姿が見られました。 様々な教育活動の趣旨をきちんと説明して取り組み、自分の学びとして受け止めて成長できるような指導を心がけます。	利根実との連携で「えだまランチ」や「マイコンカー」といった出前授業や学習成果発表会では、生徒が説明や発表を自信をもって行っており、自己肯定感が高まっています。非常に良い取り組みです。 自分の学校が好きだと感じている生徒の割合が減っているのは、目立つ生徒や活躍する生徒がいる場合、どうしても目立たない生徒も出てしまう。そういった生徒の声もあると思います。	引き続き生徒が地域貢献や資格取得、研究発表などに、生徒自身の頑張りや評価されるような取り組みを取り入れていきます。今後は、様々な教育活動の趣旨をきちんと説明して取り組み、自分の学びとして受け止めて成長できるような指導を心がけます。
	2 生徒の主体的な学びを引き出す特色ある教育活動を行っていますか。	② 学系、コースの教育活動(ボランティア活動や郊外清掃活動などの奉仕作業を含む)に対して、主体的に取り組めたと自己評価する生徒が80%以上である。	地域社会の行事に積極的に参加させ、地域とかかわることにより、課題を見つけ出させ、解決方法を考えさせ、解決に結びつけます。	A	B	B			
	3 主体的な進路選択を実施するために、進路セミナーや職場見学を積極的に取り入れていますか。	③ 生徒が学習や研究の成果を発表できる機会を年1回以上設定し、それらの活動に達成感を持つ生徒が80%以上である。	学習成果発表会や、課題研究発表会などを全校で実施し、かつ、校外の発表会などにも積極的に参加させ、生徒のプレゼンテーション能力やコミュニケーション能力を高めるよう支援します。		A	A			
	4 地元企業や地域と連携し学校外実習や体験学習を積極的に実施していますか。	④ 進路セミナーや企業又は上級学校の見学を実施し、進路意識が高まったと感じる生徒が80%以上である。	企業見学や学校見学を有効なものとするために、見学のための事前指導を行い、見学のポイントやワークシートなどを提供します。また、外部講師による進路セミナー等を実施し、進路意識の高揚をはかります。	A	A	A			
	5 基礎・基本の定着を図る指導が充実していますか。	⑤ 利根実版デュアルシステムや、長期現場実習、小中学校との交流活動・出前授業などに満足感を持つ生徒が80%以上である。	地域との連携を図り企業実習や農家実習を行います。また、地域の幼小中学校や特別支援学校等と交流を深め、徳育教育への取り組みや言語活動を意図的・計画的に取り入れていきます。	A	A	A			
II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	6 資格取得に積極的に取り組んでいますか。	⑥ 授業が理解でき、学習に対する満足感・達成感を持つ生徒が80%以上である。	多くの普通科目において、習熟度別学習、少人数学習、選択学習を導入し、生徒一人ひとりに指導の手が入りやすい授業を行います。また、授業展開で生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面を多く設定します。	A	A	A	アクティブラーニングやICTを活用した授業改善についての職員研修を重ね、わかりやすく、生徒が主体的に取り組む授業の工夫がされ、生徒が積極的に授業に取り組むようになってきました。一方で、家庭学習については、まだ十分とは言えず、資格取得に積極的に取り組む生徒が少ない点が課題です。	進学実績も出てきたので、利根実は就職・進学とも幅広く対応できる高校であることを、積極的にアピールしてください。	アクティブラーニングについての職員研修を重ね、職員にも定着してきた。授業で積極的に取り入れる職員も増えてきた。 積極的な資格取得を促し、補習など授業時間外での学習習慣を身に付けられるよう取り組み、家庭学習の定着を目指します。
	7 組織的・継続的な生徒指導を行っていますか。	⑦ 日頃より、予習や復習に取り組む生徒が50%以上である。	学び直し学習や、学期ごとの基礎学力テストなどの企画・設定などにより、日頃から学習する習慣や態度を養います。	A	B	B			
	8 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に進めていますか。	⑧ 各種検定や、資格取得に取り組む生徒が全校生徒の80%以上である。	必須で検定に取り組んだり、積極的に受検者を募集し必要に応じ補習や補講を計画し合格への支援を行います。	A	A	B			
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	9 生徒は規則正しい学校生活を送っていますか。	⑨ 問題行動で指導される生徒が前年度比の50%以下である。	週1回の学年会議、月1回の生徒指導会議を開催し、生徒の情報を共有し職員の共通理解を図ったうえで、一人ひとりの生徒に対応した段階的な指導を実施します。頭髪・服装指導は学年団を中心に徹底指導します。また、挨拶・身だしなみ・遅刻指導を中心に毎朝校門指導を実施し、改善が必要な生徒にはその場で指導します。	B	A	A	本年度も「あいさつ、清掃、整理整頓、身だしなみ、時間厳守」を生活目標に継続的な指導を行いました。多くの先生方の協力により、問題行動件数は昨年度と同様となり、生徒は落ち着いた状況にあります。 特別支援教育や教育相談に関しては、確実に充実してきています。「不登校等対策委員会」をはじめとした情報交換を大切に、早期の対応を徹底しています。 学校全体として多くの部活動を活発にする必要性を感じています。しかし、一部の部活動に頼っている様子も窺われることが現状と思われます。 定期的に受診勧告を発行するとともに、継続的に声かけなどをして受診率が上がるよう指導しました。	いじめについては、冷やかしかからかいを見逃さないことが大切です。それら小さいことでも把握していることが大事であり、その把握に尽力しているところが本校の素晴らしいところです。また、あいさつがすばらしいと感じています。特に野球部の生徒のあいさつがとても良く気持ちが良いです。一方で学校周辺で身だしなみを整えないで下校している生徒を見かけます。地域に根ざした利根実業高校としては一層の規範意識の向上を図るよう指導をお願いします。	各系、科、コースの特色を活かし、生徒が主体的に活動できる授業づくりをめざし、校内技術検定の導入や資格取得補習等の実施等を効率化を進めてきました。また、農業系と工業系の連携から、それぞれ専門性が一層高められる協力体制が構築され、各種大会や資格取得等に大きな成果を上げることができました。来年度も、更に企業と地域との連携を強めていける取り組みを実施し、生徒の社会性や人間性を磨き、進路意識を高めていきます。 地域周辺の店舗には定期的に訪問し様子を伺っており、生徒へのマナー指導を行っています。また、全校集会等で生徒に注意を促したり、地域の信頼を損ねないように指導しています。今後も、外部の方からの連絡に感謝し、生徒達が地域の方々に信頼されるよう適切な指導を行います。 来年度も継続した生活指導を実施するとともに、定期的に受診勧告を発行し早期受診にむけ指導していきます。
	10 生徒の健康状態に対する適切な指導を行っていますか。	⑩ 不登校や転学者、退学者が前年比の50%以下である。	学習活動や学校行事、部活動等の一層の活性化を図り、生徒が自己有用感や自己肯定感を感じる場面をより多く設定します。また、特別支援及び教育相談係の会議を定例化し生徒の情報を共有するとともに、特別支援コーディネーターやスクールカウンセラーを中心に問題を抱えた生徒を支援する体制を強化します。	B	A	A			
	11 充実した部活動が行われていますか。	⑪ 学校は、いじめの防止や早期発見に向けた取り組みを積極的に進めていますか。	面談や学校生活に関するアンケートから、いじめの早期発見に向けて組織的に取り組みます。	A	A	A			
	12 3力年を通して系統的で計画的な指導を行いますか。	⑫ 1力年皆勤者が生徒数の40%以上である。	家庭との連携を密にし、基本的な生活習慣の確立を図ることで欠席、遅刻、早退を減少させます。	A	A	A			
	13 適切な進路情報を提供していますか。	⑬ 治療勧告を受けた生徒のうち、早期に専門医による治療や検査を受ける生徒が50%以上である。	各種検診の終了後、速やかに保護者あてに受診のすすめを配布し、生徒の受診を促します。	B	B	B			
	14 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	⑭ 部活動に加入している生徒が80%以上で、その活動に満足している生徒が80%以上である。	掲示板の設置等で部員の増加に努め、週1回「部活動の日」を設け、職員が部活指導しやすい体制づくりに努めます。	B	B	B			
	15 家庭、地域社会に貢献できる活動を行っていますか。	⑮ 進路実現に向けて積極的に取り組んでいる生徒が80%以上である。	総合的な学習の時間やHR活動を通じ、「自己の在り方・生き方」と「将来の職業」との関連を幅広く考えさせる機会を設定し進路に対する意識の高揚を図ります。また、企業等職業人などの外部講師による進路ガイダンスを開き、進路実現に向けての心構えを育成します。	A	A	A			
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	16 就職希望者の90%以上が年末までに採用内定する。進学希望者については、十分な学校研究を行わせ、出願した大学等に全員合格する。	⑯ 5月に教職員による企業等訪問を実施し情報を収集します。大学・看護系進学希望者には進学対策の補講を実施します。	保護者会などで適切な資料を配付します。また、進路に関して関心のあることをアンケートで調査して提供資料に反映させます。	B	B	B	3年生は、進路実現に向けて積極的に取り組む姿勢が見られました。求人状況も良く、就職希望者は早い段階で内定しました。 公務員は3名の内定であり、内、一般事務職2名の内定を得ることが出来ました。又、今年度は進学希望者も多かったですが、推薦やAOなどで受験し、合格しました。その中で、1名が国立大学合格しました。 1・2年生は、例年以上に進路への関心が高く感じられ、各種進路セミナーへの取り組みなども良い状況です。	就職(民間・公務員)や進学(大学・短大・専門学校)等の多様な進路が実現できる学校になってきています。進路についても、充実していると感じました。特に2年生が主体的に活動を始めているということであり、それをさらに促して行って欲しいです。就職先では地元採用も多く、地域に根ざした学校になっている感じます。このことを更に、中学校へアピールしたら良いのではないのでしょうか。	3年間を通じた体系的で計画的な指導を行っていますが、学年ごとの特性や傾向に合わせ、より具体的な進路決定が、より早く出来るように、1・2年生の進路ガイダンス等を計画、運営していきます。 保護者への進路情報も、より多く届くように発信方法などの工夫を図っていきます。特に、大学入学共通テストの情報ははじめ進学費用や、就職における運転免許取得等の費用面についても情報発信をしていきます。また、その結果として家庭での進路の話合いが活発になり、面談等が充実することを期待します。
	17 学校からの進路に関する配布物に目を通している保護者が80%以上である。	⑰ 進路の手引きや進路だよりの情報に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	就職や進学に関する最新の状況、学校での進路行事の様子などを進路だよりにして提供します。	B	B	B			
	18 進路に関する配布物に目を通している保護者が80%以上である。	⑱ 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	PTA総会や学校公開などの学校行事を休日に実施するなど、保護者が参加しやすい環境を整えます。	A	A	A			
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	19 学校の施設開放や、地域ボランティア活動に、生徒・保護者の80%以上が満足している。	⑲ フォームフェスティバル・地域ボランティア活動・地域交流・もの作り貢献などコースの特徴を考えた活動を実施します。	PTA総会や保護者会などの参加に関する意識度は高く、最終的には、86.7%と高い数値を示しています。また、フォームフェスティバルや郊外販売活動は保護者に周知されており、その評価も高いものがあります。	A	A	A	第2回保護者アンケート結果から、PTA総会や保護者会などの参加に関する意識度は高く、最終的には、86.7%と高い数値を示しています。また、フォームフェスティバルや郊外販売活動は保護者に周知されており、その評価も高いものがあります。	そば打ち大会の見学で、生徒が緊迫した雰囲気なかで頑張っている姿を、もっと保護者に見てもらった方がよいと思います。	PTA総会では、全体会よりクラス単位の会合を優先する傾向にあります。生徒の取組みを積極的にアピールし、授業への保護者の興味関心を高め、参加率を上げていきます。また、フォームフェスティバルや校外販売活動は、保護者の評価も高いが形骸化の傾向もあります。販売方法などをさらに改善してまいります。